

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表 令和6年2月1日

社会福祉法人 館邑会 放課後等デイサービスういず

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	2	0	お子さんの活動の個別化によって指導訓練室での活動の工夫をしています。	学齢期後半のお子さん達が多いため、自立生活を目指し日常生活に直接役立つ内容をより考えていきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	4	0	基本的に個別活動であるため、個々の活動の組み合わせを工夫して取り組むことで職員数は、カバーできています。	基準的には足りているが、実際支援的に人数が足りないと感じることもありますので、左記をより充実させていくことが必要と感じています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	0	2	お子さんの動きの中で不安に感じる場面の情報共有に努めています。	トイレや玄関の段差の部分はお子さん達の動きを確認しながら改善していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	0	日々の引継ぎの中でPDCAサイクルを意識しながら、活動内容の振り返りを行っています。	一人ひとりの目標をより具体的に明確にしていくことで、より振り返りがしやすく改善点等がわかりやすい流れになると考えています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	評価の機会だけでなく、日ごろ保護者の方からのご意向等を聞くことが出来るよう心がけています。	保護者の方たちのご意見は日々の利用の中にあると考え、普段の関りの中で聞くことが出来るようにしていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	ホームページで公表し、ういず便りで公表したことをお伝えしていきます。	ういず便りでお伝えしていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	0	コロナ禍以外は第三者に入って指導を受けています。	今年度はまだおこなっていませんので、検討していかなければと思います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	大きな研修の機会と言うより、日々の積み重ねになるような研修の時間も設けてきました。	研修内容と日々の支援、お子さん達の様子につながるよう打ち合わせや職員会議で工夫をしていく必要があります。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	出来るだけ標準化されたアセスメントを使い、適切なアセスメントになるよう取り組んでいます。	標準化されたアセスメントツールに取り組んでいますが、アセスメントツールへの取り組みが難しく感じており、そのための研修も必要です。
適切な 支援の 提供	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	0	標準化されたアセスメントを使い、適切なアセスメントになるよう取り組んでいますが、適切にアセスメントツールを使用することに難しさを感じています。	アセスメントの結果、結果をどう活かしていくべきかをどのように情報共有していくかが課題となっています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	毎朝、一人ひとりのスケジュールを基に活動内容を検討しています。	より個別支援計画に基づいた内容にすることが出来るようにしていきたいと考えています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	目標達成にむけ、スモールステップでの活動を考えるため、固定化することはありません。	目標にむけ、適切な活動内容と適切な課題分析を行い、お子さんにとって取り組みやすい内容を検討していきたいと考えています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	長期休みはお子さんが利用している時間が長いので、引きつぎや課題の準備が十分に出来ない日が多い。そのため夏休み前に個々の夏休みの活動の確認を行っています。	また長期休みはイレギュラーな利用も多いため、急遽の対応が難しい場面もありますが、出来る限り保護者の方のニーズには答えたいと考えています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	中高生の利用が多いため、中高生が中心になって、おやつ作りや出かける機会を多く設けることが出来ました。	小学生については、出来るだけ小集団での活動を意識していますが、個別活動が中心になっています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	お子さん達が来園する前に、お子さんスタッフ一人ひとりのスケジュールを提示し、支援内容や役割を確認できるようにしています。	スケジュールを基により具体的な活動についての話し合いが必要と感じています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	0	短時間になってしまうことが多いものの毎日打ち合わせの時間は、確保をしています。	支援前の打ち合わせの内容がより個別的で具象的であることで、支援後の打ち合わせ内容の充実が図れると思われれます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1	0	記録シートに短期目標が記入してあり、目標にそった記録が出来るよう取り組んでいます。	支援目標がもっと簡単に確認することが出来るよう、シート等での保存の工夫が必要であると感じています。
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	計画作成半年後にモニタリングを行っているが、必要に応じて短期間で計画の見直し変更を行っています。	引き続き、状況や必要に応じて半年を待たずに、モニタリング、計画の見直しには取り組んでいきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	1	0	お子さん達の一人ひとりの自立した生活を意識しながら取り組んでいます。	一人ひとり特性が違う中、どのようなことを伝えていくべきかそのためには職員がそのようなことを学んでいくべきか常に考え取り組んでいます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	会議自体には、児発管または管理者が参加しているが、事前に打ち合わせ等で会議前の情報共有は行っています。	相談支援事業所との担当者会議の在り方も今後、考えていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	2	0	行事等で下校時間の変更が考えられる時は、学校の方に直接確認をとるようにしています。	引き続き、気になることは、早めに担任の先生に確認をとるよう掛けていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3	1		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	1	1		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1	0	就労支援事業所には、どのような情報が必要とされているかの確認をしながら、シートの提供を考えています。	前年度、放デイの方からの情報提供が出来ませんでした。相談支援事業所に相談しながら、丁寧に進めていきたいと考えています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	1	様々な機関の研修開催には、目を向け参加できるものに参加しています。	支援センターに限らず、専門機関からの助言研修の機会はここがけていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	1	児童館や公園での活動では、小学生がその場で遊んでいるお子さん達と一緒に遊ぶ場面が見られます。ご本人が意欲的であれば、促すこともあります。	お子さん達の状況がさまざまである中、取って他の学童クラブと交流するという機会を設ける必要があるかは検討する必要があると思われると思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	0	自立支援協議会児童発達支援部会へは、地域の法人の職員であることを意識しながら参加しています。	法人の事業所ということもあり、自立支援協議会の他の部会の情報も入りやすいので、情報の発信をする役割を担っていく必要を感じています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1	0	今年度は閉所のこともあり、個別に保護者の方とお話する機会が多かったため、個別に保護者の方と話をする機会を多く、共通理解の場面も多かったです。	送迎の際、お子さんの状況については出来るだけお伝え出来るようにしています。より時間が必要な時には個別に時間をとって頂けるようお願いしていきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	1	1	3	保護者の方が、参加しやすい研修への紹介程度になってしまっています。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	今年度は閉所のこともあり、個別に保護者の方とお話する機会が多かったです。	残り少ない期間の中で閉所にむけ、保護者の方には丁寧な対応に努めていきたいです。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	相談を受けた職員が引継ぎ等で情報を職員全員で共有してから、保護者の方に助言していくことが多くなっています。	保護者の方が抱えている悩みや不安を伝えやすい環境、関係作りについては職員全体で考えていく必要があります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	2	今年度は、中高生の保護者の方を対象に法人のグループホーム見学の機会を設けました。	年齢が上がるにつれ、就労や将来の生活の場について相談する機会が必要と感じています。グループホーム以外の事業所の職員の話聞く機会も設けた方が良かったと思っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	保護者の方からのご意見を真摯に受け止めていくこと、共有していくことに努めています。	保護者の方の日々の話の中にも、保護者の方のご意見や訴えを感じる場面がありますので、見落としがないよう意識していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	保護者の方から確認をとり、ういず便りの内容に写真などわかりやすく活動の様子を載せると、興味を持ってくれる保護者の方が増えました。	保護者の方にとってどのような内容であると興味を持っていただけるのかを考える必要も感じています。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	書類等の扱いはもちろん、掲示物やお便り等個人情報には配慮しています。	秘密保持については、細かい部分の配慮の不足を感じる場合があります。職員の意識の向上に向け取り組みます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	視覚情報な情報をどのように活用していくか研修を受けるなど日々取り組んでいます。	状況に応じて、お迎えの際などまたは、お子さんが学校に行っている間の時間を使い、個別にお話させていただくこともありました。今後も続けていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	1	特に行っていないのが現状です。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	0	法人で取り組んでいますので、細かな点も確認することが出来ています。まずは職員間での共有が難しく、職員の研修が中心です。	BCPの作成にも取り組んでいますので、適切な段階で保護者の方にもお伝えしていきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	年2回の避難訓練の実施をしています。	避難訓練の際、保護者の方との連絡について等、より具体的に流れを考えていべきと感じています。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	今年度は事業所で行いだけではなく、他事業所で行っている虐待防止研修にも参加しました。	法人での虐待防止への取り組みが積極的であるため、法人の取り組みから全職員が学べるよう意識していきます。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0	法人の方針取り組みを基に行っています。	法人の取り組みを基に職員全体への周知に努め、事業所としてもより深めていきます。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	0	3		
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	日々の中で書き留めていくことが難しくなってきたのが、現状です。書く時間を設けることもあります。	毎日の引継ぎの中で、ヒヤリハットを作成していくことが出来るよう取り組んでいきたいと感じています。